

## 令和3年度 管理運営業務点検報告書

対象施設	横浜市青葉区民文化センター（フィリアホール）
対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
指定管理者	東急コミュニティー・神奈川共立・横浜市民施設協会 共同事業体
実施日	令和4年1月25日
点検方法	この業務点検は、別紙の業務点検結果シートの点検項目及び点検内容に基づき、指定管理者から提出された報告書類の内容審査等により実施した。
講評	当施設での経理事務、利用者への接遇（苦情・要望対応）等は適切に行われ、施設内も整理整頓がなされており、施設の管理運営は概ね適正に行われていると認められる。また、コロナ対策を講じたうえで、可能な限りの自主事業を実施しつつ、動画配信環境を整えるなど、コロナ禍での運営面は特に高く評価される。
指摘事項	特になし
改善状況	
添付資料	業務点検結果シート（別紙）

(様式17)

## 業務点検結果シート(令和3年度総括)

施設名 青葉区民文化センターフィリアホール

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、目標達成状況	25,042,190円(100.8%)
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住 区別利用数、その他利用数	346日、56,346名
	会議室等稼働率	部屋別等の稼働率	コロナ禍で夜間枠利用停止の影響がある一方、日中の稼働率は90%を超過。ホール利用のキャンセルは少ない。
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率 ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	151,978,000円(100%)
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経 費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書 の自主事業計画との整合性	21回 自主共催共に、海外アーティストの来日ができず、ほとんどが中止。YouTubeで配信するために動画を撮影したものもあった。
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	適正
	施設の管理状況	点検実施日、点検内容、点検結果、対応状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三 者への委託状況等)	各種保守点検は予定通り実施。特段の不具合はないが、4年度休館中にピアノの修理または買い替えを検討中。
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	天井照明配線修理、感知器の交換等実施。LED化を進めた。
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	適正に管理されている。
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コール センターへの意見・要望等)や利用者ニーズ、苦情 等の把握状況と対応、掲示の有無等	施設利用時の利用人数等記載票の裏面で、意見要望欄あり。特段の要望は来ていないが、決まった意見が多いので、4年度休館に向け、匿名ご意見箱の一時的な設置を検討したい。
	巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	良好。清潔さと整然さを保っている。
	年1回	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等
個人情報保護		個人情報保護取扱特記事項の取組状況、研修 の実施、誓約書の提出	提出済。コロナ禍で実地研修はなし・オンライン受講。
緊急時対策		緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	作成済
防犯・防災対策		防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	作成済
		消防計画の作成・提出状況	作成・提出済
保険		施設賠償責任保険への加入状況	加入している
その他研修等の報告		職員等に対する研修の実施状況	代表企業によりコンプライアンス研修、個人情報保護教育等実施。その他参加自由研修の案内あり。
本市重要施策への実現に向けての取組状況	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市 内中小企業への優先発注、環境政策、障害者福祉 政策、男女共同参画政策等の取組状況	障害福祉と地域施設連携の観点から、「あおば支援学校」との連携事業実施。例)文化庁主催の教育プログラムや職業体験	
随時	地区センター委員会 利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	なし
	損害賠償	損害賠償の発生状況	なし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	新型コロナウイルス感染症対策に伴う利用制限あり
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	なし
喫緊の対応が必要又は特に重要な意見、要望 特に重要な施設の維持管理、修繕に関すること		すぐに対応が必要な意見、要望	空調・電気設備等の経年劣化進行。機器更新の必要あり。
		利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管理、修繕に関する状況	4年度にホール及びホワイエ天井脱落対策工事を実施予定につき、1年間利用停止。
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策を実施(利用者への消毒セット等の貸出、利用後の消毒実施協力依頼、ホール利用者には体温計も貸出、足踏み式消毒2台常備)。</li> <li>・チラシ・ポスター等のデザイン、印刷の外注を廃止し、ほとんどをスタッフによる内製化に転換することで、年間数百万円の経費を削減した。</li> <li>・コロナ禍でのオンライン配信用にWi-Fi環境等を整備した。</li> </ul>		特になし